



LIXIL

リビング建材 SLシリーズ 和襖引戸ユニット

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

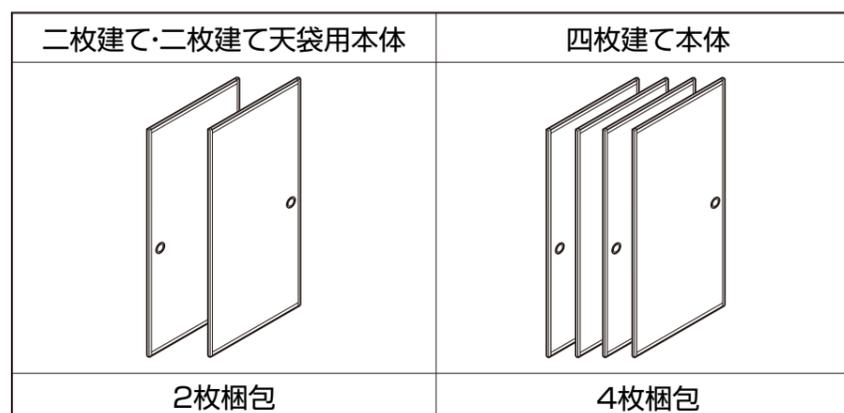
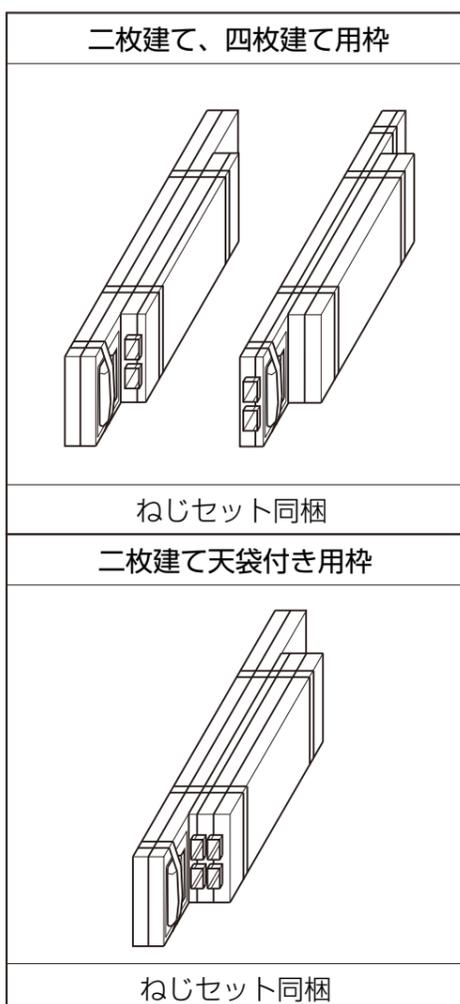
▲注意

●鴨居と引戸本体は、必ず5mm以上かかるようにしてください。かかりが小さいと開閉中に本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
 - 運搬・加工の際は、キズ付けないよう丁寧に取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。(ソリ・ねじれの原因になります。)
 - 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
 - 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 - 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木は、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
 - 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
 - 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
 - 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
 - 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
 - 枠取付けの際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直が出ているか確認した後、取付けてください。
 - 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
 - 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細



	枠						
	鴨居	敷居	縦枠	中鴨居	ねじセット	プラインッシュボルト	戸当り
二枚建て	1	1	2	—	1	2	2
四枚建て	1	1	2	—	1	3	2
二枚建天袋付き	1	1	2	1	1	3	4

■ねじセット

対応機種呼称	取付けねじ DN65φ3.8×65(入数)	組立てねじ 皿小ねじM4×50(入数)	穴埋めシール (4枚/シート)
二枚建て	1618、1620	16本	8本
二枚建て天袋付	1622	28本	12本
四枚建て	2520	24本	8本

開口部の作り方

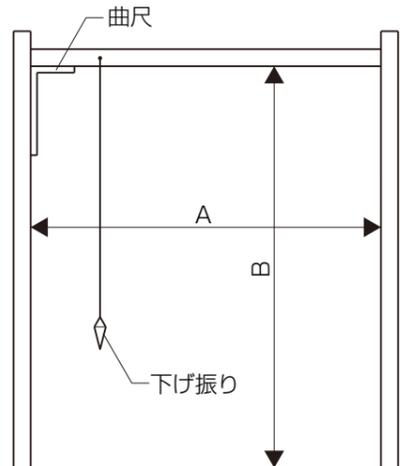
開口寸法の出し方

開口A寸法:製品寸法(W)+10mm

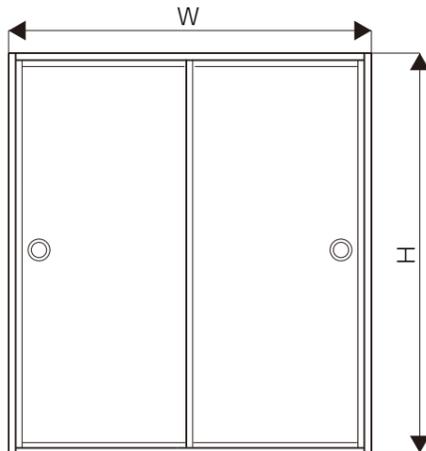
開口B寸法:製品寸法(H)+5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

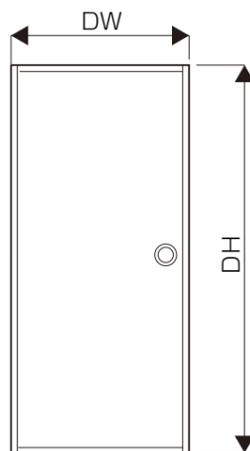
開口寸法



製品寸法(枠)



製品寸法(本体)



製品寸法(枠)

〔在来用〕

(単位mm)

呼称 (W・H)	W	H
二枚建て	1618	1838
//	1620	2038
二枚建て天袋付き	1622	2238
四枚建て	2520	2038

〔2×4用〕

(単位mm)

呼称 (W・H)	W	H
二枚建て	1620	1993

製品寸法(本体)

〔在来用〕

(単位mm)

呼称	DW	DH
二枚建て	1618	1808
//	1620	2008
// (天袋)	1604	360
四枚建て	2520	2008

〔2×4用〕

(単位mm)

呼称	DW	DH
二枚建て	1620	1963

取付け順序

1 枠の組立て

2 枠の取付け

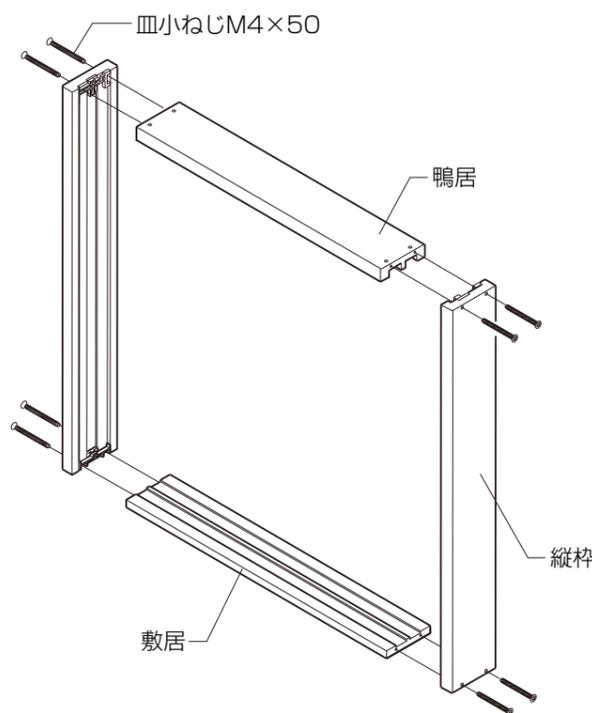
取付け詳細

1 枠の組立て

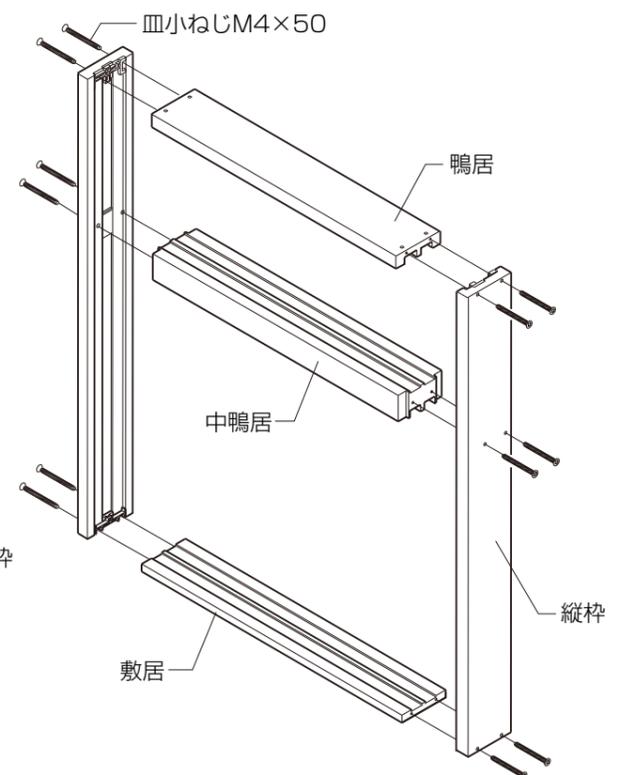
●図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじ M4×50)で固定します。

※縦枠は左右の区別がありません。

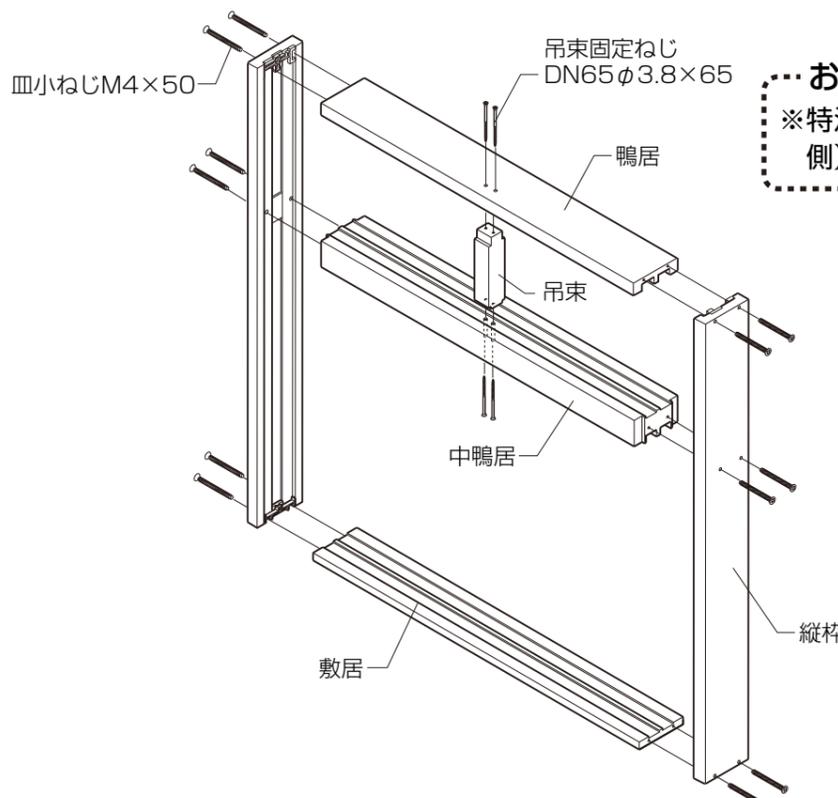
二枚建て枠、四枚建て枠



二枚建て天袋付枠



四枚建て天袋付枠(特注)

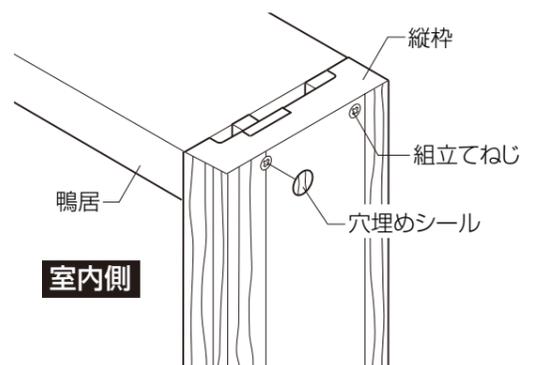


お願い

※特注の四枚建て天袋付枠の吊束は、収納側(押入れ側)溝部に取付けてください。

【穴埋めシールの使用方法】

下図のように、室内側にくる鴨居・中鴨居・組立てねじ頭に穴埋めシールの木目方向を合わせて張ってください。

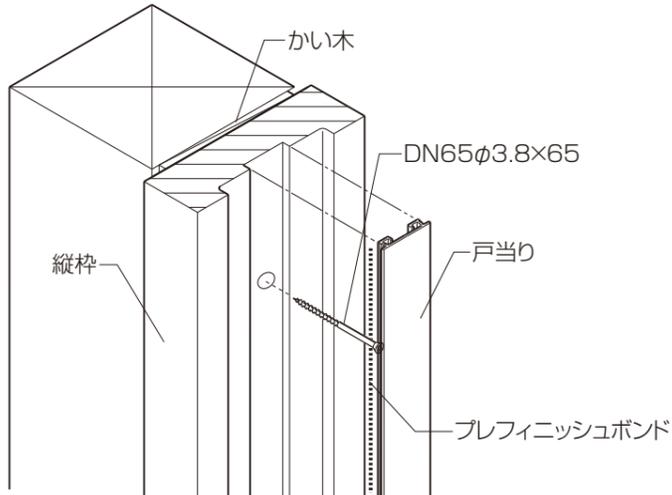


■ 2 枠の取付け

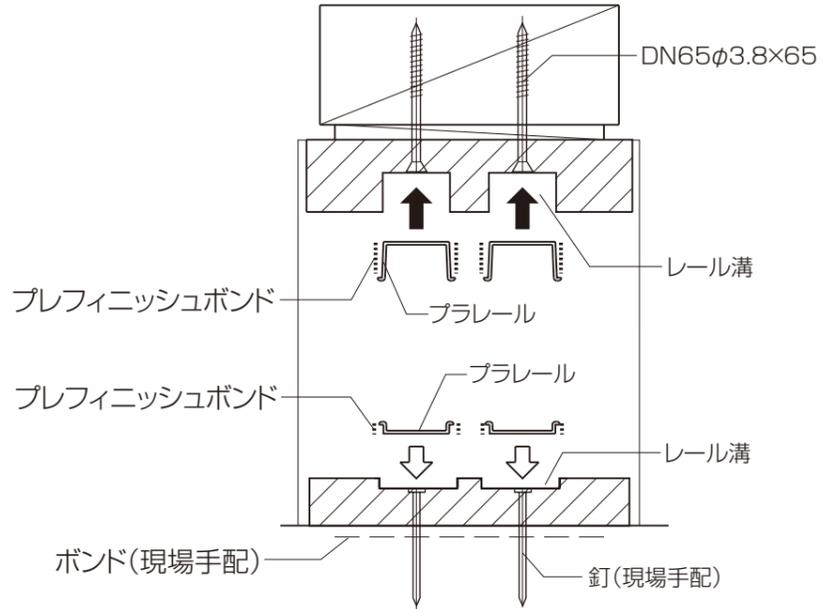
- 開口部と縦枠、鴨居の間にかい木を入れて取付けます。
- 取付けには、同梱のねじ(DN65×φ3.8×65)を使用します。縦枠は、ねじで固定後、戸当りに同梱の接着剤(プレフィニッシュボンド)をつけて、戸当り溝をふさぎます。

お願い

- ※ 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどないように注意してください。
- ※ 枠取付け後、引戸本体を吊込み、上レールのかかりを確認してください。
- ※ 接着剤(プレフィニッシュボンド)は付けすぎではみ出さないように注意してください。



- 鴨居・敷居をレール溝からねじ止め及び釘止めした後、ブラレールの両側にプレフィニッシュボンドをつけて溝にはめ込みます。
- 釘は端部より100mm離し350mmピッチでボンドと併用して取付けてください。



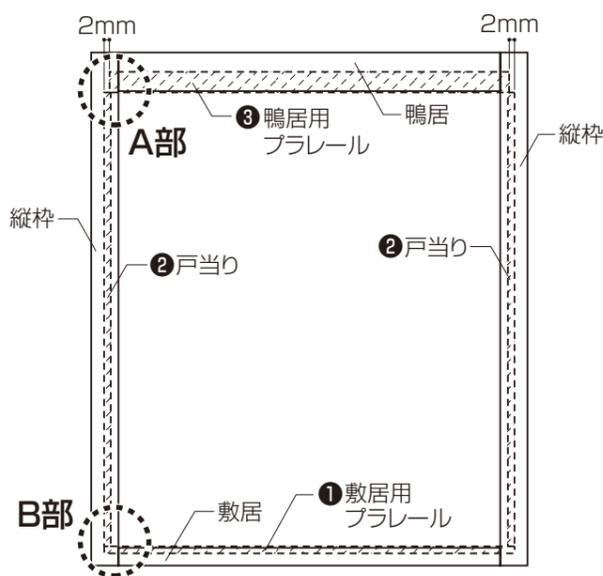
お願い

- プレフィニッシュボンドは付けすぎではみ出さないように注意してください。

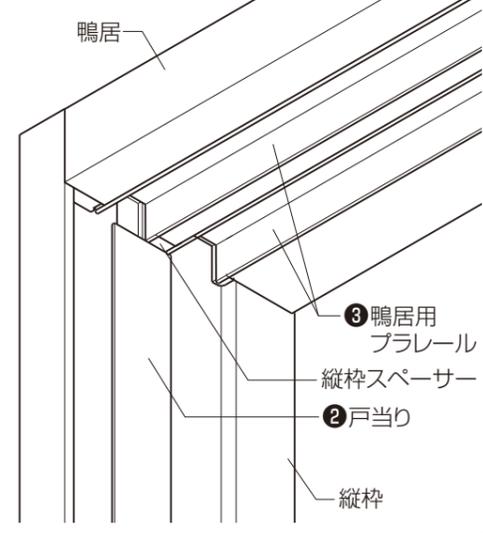
■ 戸当り、ブラレールのコーナー部の納め方

※ 戸当り、ブラレールは、下記の順序で取付けるとコーナー部がきれいに納まります。

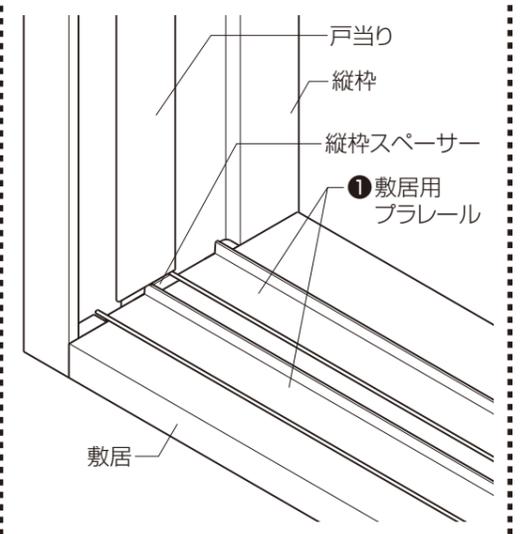
- ① 敷居ブラレール (ブラレール、戸当り納まり図)
- ② 戸当り
- ③ 鴨居ブラレール



■ A部詳細図



■ B部詳細図



■ 本体の建付け調整

■ 上下の建付け調整

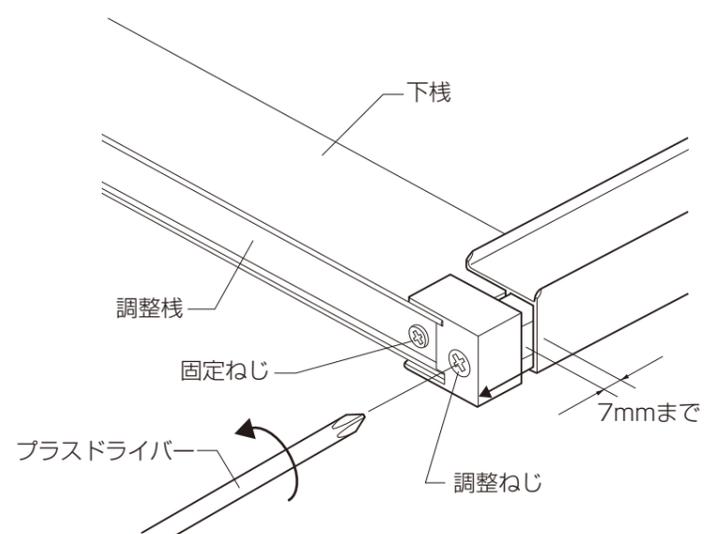
- ① 扉を枠から外します。
- ② 扉を寝かせ 扉下面の左右角にある調整ねじを回します。
※ 内寄りにある固定ネジはゆるめません。
- ③ ねじを左に回すと下枠より調整枠が出てきます。(7mmまで) 適した高さになるよう調整します。

※ 左右の調整ねじの一方だけを回し続けしないでください。
左右交互に1回転ずつ回すことでスムーズに調整枠が出入ります。
ねじの回転が固くなったら それ以上 回さないでください。

- ④ 扉を枠に戻します。

お願い

- 調整は必ず手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用した場合 ねじが壊れるおそれがあります。



■襖紙(シート)の張り方・張替え方

■現地張りタイプの場合

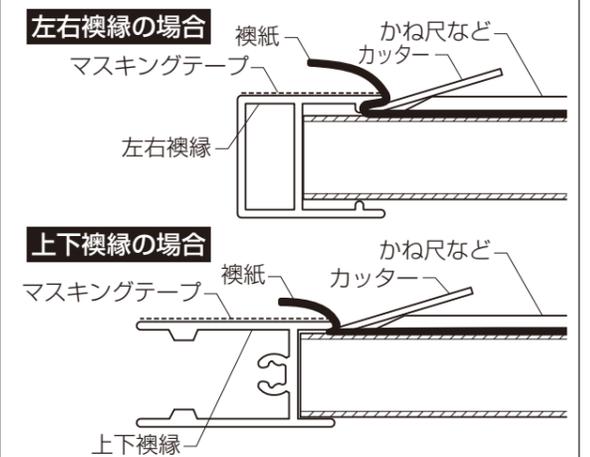
※現場手配した襖紙を張った場合は、次回の張替え時から、上に張増しすることができます。

- ①扉を枠から外します。
- ②引手を手で引っ張って取外します。
固い場合は、裏面から当て紙をしてマイナスドライバーで少しずつ持ち上げます。(図1)
- ③襖縁を養生するためマスキングテープを襖縁に張ってください。
- ④新しい襖紙を張ります。
●新しい襖紙を、上下・左右共に襖縁より10mmほど大きく裁断します。(予備切断)
- ⑤扉に襖紙を澱粉糊(糊付き紙の場合は水)で張ります。
- 位置を確認して扉に張付けます。しわが入った所は、もう一度はがして張りなおしてください。次に押えハケか、乾いたタオルで中央から上下左右へ空気を押出すように軽くこすってください。多少のしわやたるみは乾燥すれば直ります。
- ⑥襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。(本切断)
襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などをガイドにしてカッターで切断してください。その際、下地をキズ付けしないでください。キズが付くと襖縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。(図2)
- ⑦襖紙の切り代をヘラなどで襖縁の内側に押し込んでください。(図3)
- ⑧扉を吊込んで引手を取付けてください。(図4)

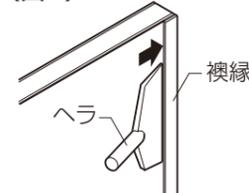
(図1)



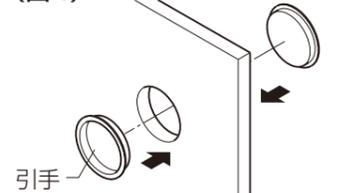
■和襖の場合(図2)



(図3)



(図4)



●お願い

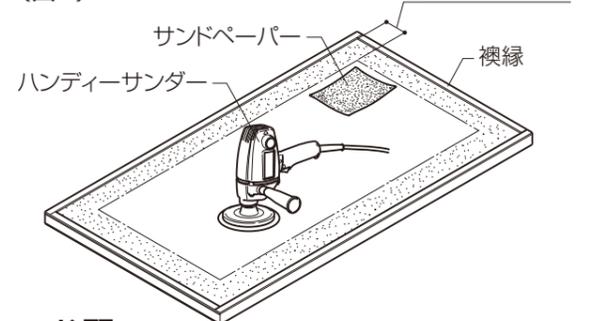
- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。
- 両面現地張りタイプの場合は、両面とも同じ襖紙を張ってください。

■既製襖タイプの場合

※襖柄シートですので、張替えは不要です。破損などで張替えが必要な場合は、市販の襖紙での対応をおすすめします。

- ①扉を枠から外します。
- ②引手を手で引っ張って外します。固い場合は、裏面から当て紙をしてマイナスドライバーで少しずつ持ち上げます。(図1)
- ③襖縁を養生するため、マスキングテープを2枚重ねて張ってください。
- ④糊の密着性を高めるため、襖柄シートのコーティング層と着色層をはくりします。
●襖縁の際からサンドペーパー(手作業)で、襖縁にキズを付けないようにして着色層まではくりします。(幅15mm~20mmで行ってください。)
ハンディーサンダー等で襖柄シート全体のはくりをします。(図5) サンドペーパーは100番~180番程度のものを使用してください。
- はくりは着色層がなくなり、襖柄シート基材の紙が出てくるまで行きます。襖基材のペーパーハニカム(ダンボール)まではくりしないでください。
- ⑤襖表面に穴があいた場合は、周囲をマスキングテープで養生し、穴うめ下地パテで基材(ペーパーハニカム)内部まですき間なく充てんし、平らにしてください。
- ⑥新しい襖紙を張ります。
●新しい襖紙を上下・左右共に襖縁より10mmほど大きく裁断します。(予備切断)
- 市販の澱粉糊を襖全体に塗布してください。(糊は「ルーアマイルド」(ヤヨイ化学)をおすすめします。)
水との稀釈要領などについては説明書に従ってください。
- 張りはじめに襖の柄が曲がらないようにしてください。又、張りはじめに襖紙がよれると襖紙に負荷がかかり、はがれやすくなりますので慎重に行ってください。
- ヘラを使い、余分な空気・糊を外に出して襖紙のしわを取除いてください。
- 襖紙の密着をよくするため、全体をまんべんなく押えます。
- ⑦襖縁に合わせて襖紙をカッターなどで切断します。(本切断)
襖縁の内側いっぱいまで襖紙を折返し、かね尺などをガイドにしてカッターで切断してください。その際、下地をキズ付けしないでください。キズが付くと襖縁がはずれて使用できなくなるおそれがあります。(図2)
- ⑧襖紙の切り代をヘラなどで襖縁の内側に押し込んでください。(図3)
- ⑨扉を吊込んで引手を取付けてください。(図4)

(図5)

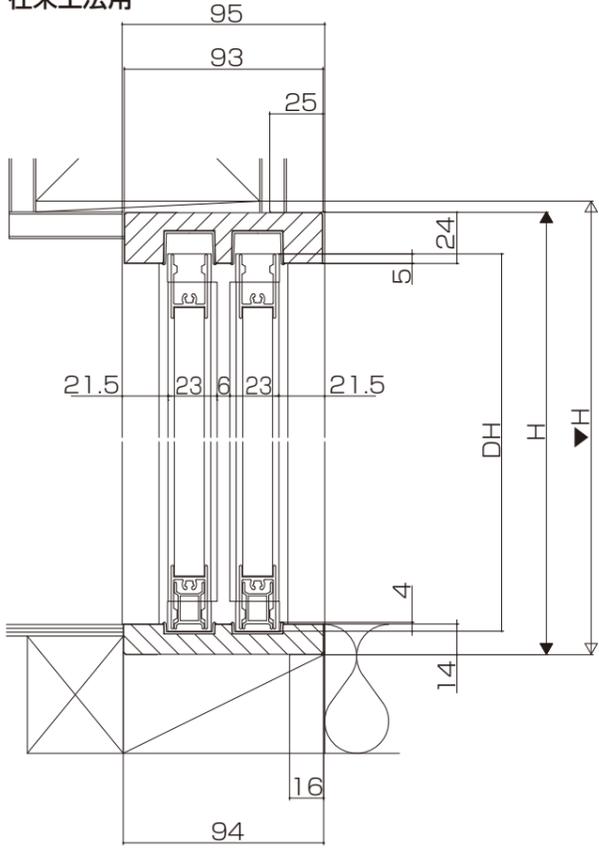


●お願い

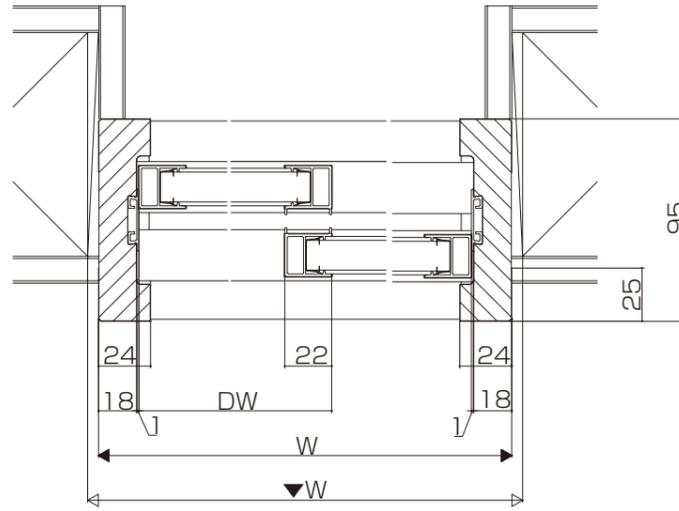
- 片面をクロス張りにしないでください。ソリが生じます。

■納まり図

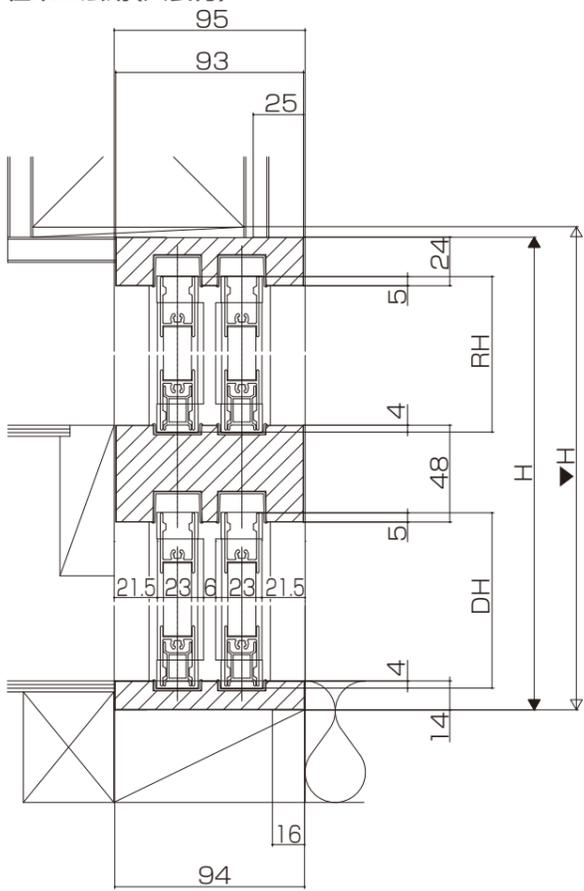
在来工法用



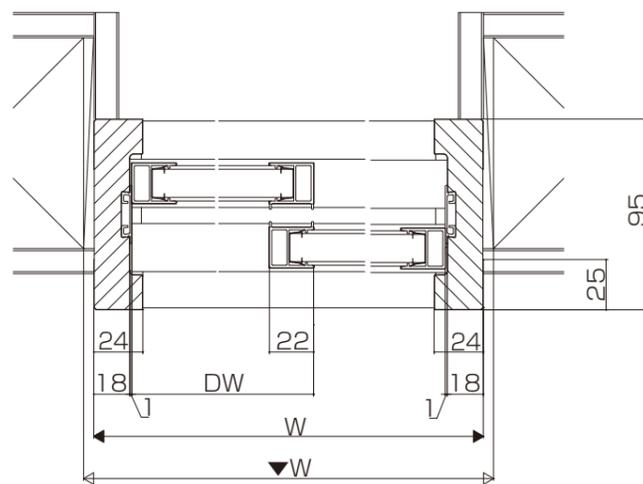
引違い戸2枚建



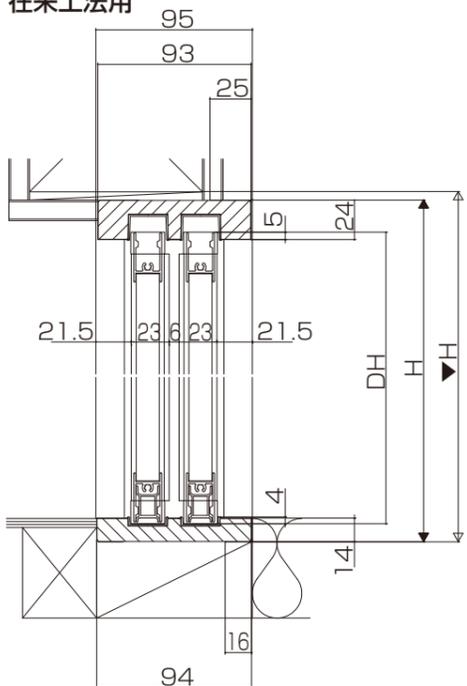
在来工法用(天袋付)



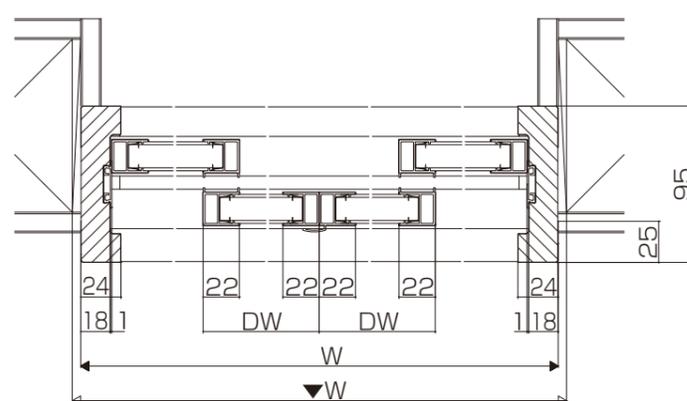
引違い戸2枚建



在来工法用

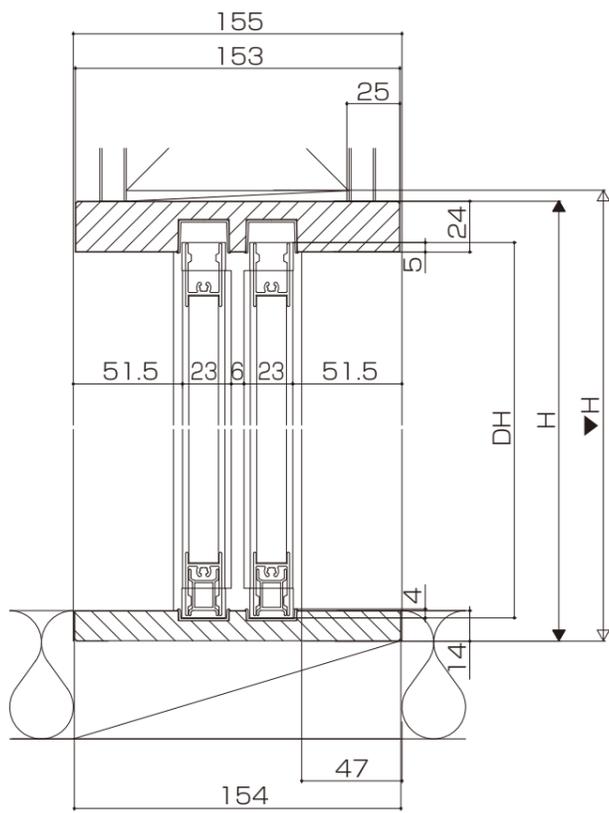


引違い戸4枚建

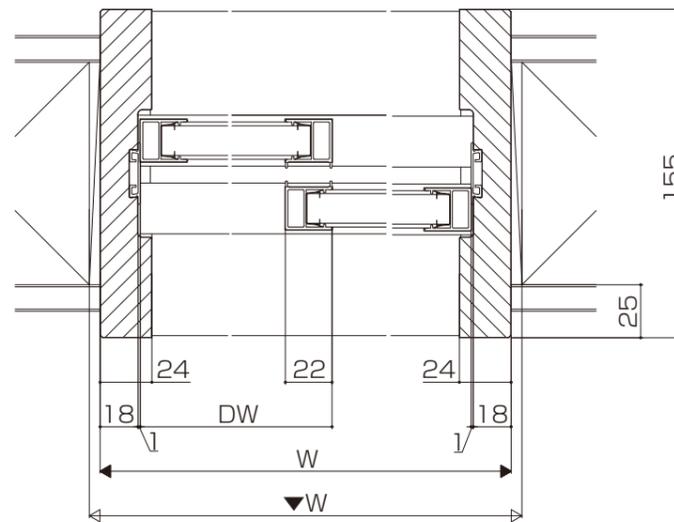


在来工法用

【間仕切り枠仕様】

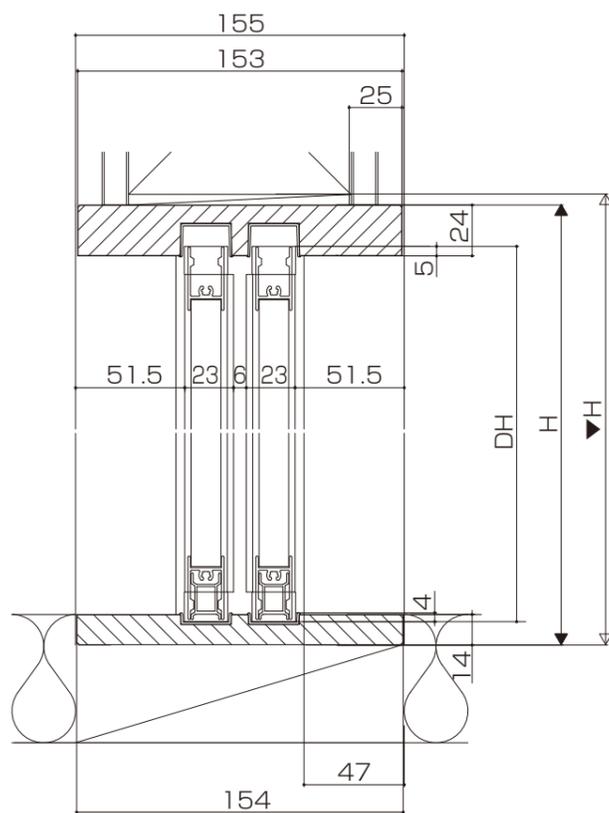


引違い戸2枚建



在来工法用

【間仕切り枠仕様】



引違い戸4枚建

